［ゲスト］森下一仁さん（ＳＦ作家、ＳＦ評論家）、井上雅彦さん（作家）
日下三蔵さん（アンソロジスト）、香月祥宏さん（レビュアー）

2020年ＳＦ回顧資料（国内SF出版リスト）

資料提供　香月祥宏さん

1月
- 『ウルトラマンダイナ 未来へのゼロドライブ』長谷川圭一・谷崎あきら（早川書
- 『時空棋士』新井政彦（マイナビ出版）
- 『宇宙からの帰還　望郷者たち』夏見正隆（ハルキ文庫）
- 『町　マラキム』佐藤哲也

2月
- 『ワン・モア・ヌーク』藤井太洋（新潮文庫）
- 『機巧のイヴ 帝都浪漫篇』乾緑郎（新潮文庫）
- 『2010年代SF傑作選 １・２』大森望・伴名錬編（ハヤカワ文庫JA）
- 『７分間SF』草上仁（ハヤカワ文庫JA）
- 『ポロック生命体』瀬名秀明（新潮社）
- 『丸の内魔法少女ミラクリーナ』村田沙耶香（KADOKAWA）
- 『流卵』吉村萬壱（河出書房新社）
- 『月岡草飛の謎』松浦寿輝(文藝春秋)
- 『坂下あたると、しじょうの宇宙』町屋良平（集英社）
- 『星系出雲の兵站　－遠征－３』林譲治（ハヤカワ文庫JA）
- 『神域』真山仁（毎日新聞出版）
- 『ドミノ in 上海』恩田陸（KADOKAWA）
- 『西新宿 幻影物語』小林栗奈（産業編集センター）
- 『日経「星新一賞」第七回受賞作品集』（日本経済新聞社）
- 『猫の扉 猫ショートショート傑作選』江坂遊編（扶桑社文庫）
- 『キャサリンはどのように子供を産んだのか？』森博嗣（講談社タイガ）
- 『動物たちのまーまー』一條次郎（新潮文庫）
- 『小さき者たち』粕谷知世（早川書房）
- 『錬金術師の密室』紺野天龍（ハヤカワ文庫JA）
- 『しゃもぬまの島』上畠菜緒（集英社）

3月
- 『人間たちの話』柞刈湯葉（ハヤカワ文庫JA）
- 『ツインスター・サイクロン・ランナウェイ』小川一水（ハヤカワ文庫JA）
- 『ホテル・アルカディア』石川宗生（集英社）
- 『罪人の選択』貴志祐介（文藝春秋）
- 『約束の果て　黒と紫の国』高丘哲次（新潮社）
- 『不可視都市』高島雄哉（星海社FICTIONS）
- 『彼女の知らない空』早瀬耕（小学館文庫）
- 『絶対猫から動かない』新井素子（KADOKAWA）
- 『彼女は弊社の泥酔ヒロイン』梶尾真治（新潮文庫nex）
- 『アウターライズ』赤松利市（中央公論新社）
- 『ピエタとトランジ＜完全版＞』藤野可織（講談社）
- 『ぬいぐるみとしゃべる人はやさしい』大前粟生（河出書房新社）
- 『二度目の過去は君のいない未来』高梨愉人（集英社文庫）
- 『どこか奇妙な恋物語』普藤歌六（宝島社文庫）
- 『地に這うものの記録』田中慎弥（文藝春秋）
- 『東京ホロウアウト』福田和代（東京創元社）
- 『帝国』花村萬月（講談社）
- 『ダーク・ブルー』真保裕一（講談社）
- 『未知の鳥類がやってくるまで』西崎憲（筑摩書房）
- 『ＣＡＧＥ 警察庁科学警察研究所特別捜査室』日野草(中公文庫)
- 『カンブリア 警視庁「背理犯罪」捜査係 邪眼の章』河合莞爾（中公文庫）

4月
- 『ピュア』小野美由紀（早川書房）
- 『タイタン』野崎まど（講談社）
- 『おおきな森』古川日出男（講談社）
- 『ドライドックNo.8 乾船渠八號』乾緑郎（羽鳥書店）
- 『木になった亜沙』今村夏子（文藝春秋）
- 『永遠の夏をあとに』雪乃紗衣(東京創元社)
- 『パライゾ』阿川せんり（光文社）
- 『透明人間は密室に潜む』阿津川辰海（光文社）
- 『スノードロップ』島田雅彦（新潮社）
- 『堕地獄仏法／公共伏魔殿』筒井康隆（竹書房文庫）
- 『暗号通貨クライシス ＢＵＧ広域警察極秘捜査班』福田和代（新潮文庫nex）
- 『真夜中のすべての光』富良野馨（講談社タイガ）
- 『水曜日が消えた』本田壱成（講談社タイガ）
- 『ループ・ループ・ループ』桐山徹也（宝島社文庫）
- 『やがらす魔道具店と黒い結末』田丸雅智（学研プラス）

5月
- 『星に仄めかされて』多和田葉子（講談社）
- 『マルドゥック・アノニマス５』冲方丁（ハヤカワ文庫JA）
- 『星系出雲の兵站　－遠征－４』林譲治（ハヤカワ文庫JA）
- 『侵略者』福田和代（光文社）
- 『パンダ探偵』鳥飼否宇（講談社タイガ）
- 『オルタナ日本(上・下)　地球滅亡の危機』大石英司（Cノベルズ）
- 『私の彼は腐ってる』九条菜月（中公文庫）
- 『ＳＣＩＳ科学犯罪捜査班 天才科学者・最上友紀子の挑戦２ Infection』中村啓（光文社

6月
- 『100文字ＳＦ』北野勇作（ハヤカワ文庫JA）
- 『文豪宮本武蔵』田中啓文（実業之日本社文庫）
- 『幽霊を創出したのは誰か？』森博嗣（講談社タイガ）
- 『枝角の冠』琴柱遥（ゲンロンSF文庫）
- 『推しの三原則』進藤尚典（ゲンロンSF文庫）
- 『ヒカリ』花村萬月（光文社）
- 『京大はんと甘いもん』藤井清美（KADOKAWA）
- 『幻綺行 完全版』横田順彌（竹書房文庫）
- 『ティンカー・ベル殺し』小林泰三（東京創元社）
- 『杜子春の失敗』小林泰三（光文社文庫）
- 『晴れ、時々くらげを呼ぶ』鯨井あめ（講談社）

7月
- 『オクトローグ　酉島伝法作品集成』酉島伝法（早川書房）
- 『日本ＳＦの臨界点［恋愛篇］［怪奇篇］』伴名練編（ハヤカワ文庫ＪＡ）
- 『ベストSF2020』大森望編（竹書房文庫）
- 『図書館の子』佐々木譲（光文社）
- 『来世の記憶』藤野可織（KADOKAWA）
- 『大江戸火龍改』夢枕獏（講談社）
- 『黄色い夜』宮内悠介（集英社）
- 『プロジェクト・インソムニア』結城真一郎（新潮社）
- 『ＤＡＳＰＡ　吉良大介』榎本憲男（小学館文庫）
- 『季節を告げる鵞鵞は夜が知った毛毛毛毛』藤田貴大（河出書房新社）
- 『ただいま神様当番』青山美智子（宝島社）
- 『犬の張り子をもつ怪物』藍沢今日（宝島社文庫）

赤字：おふたりとも選出
青字：香月さんの10選
緑字：森下さんの10選

香月祥宏さん 10選

『歓喜の歌　博物館惑星III』,菅浩江,早川書房
《星系出雲の兵站》,林譲治,ハヤカワ文庫ＪＡ
『日本ＳＦの臨界点［恋愛篇］［怪奇篇］』,伴名練編,ハヤカワ文庫ＪＡ
『オクトローグ　酉島伝法作品集成』,酉島伝法,早川書房
『未知の鳥類がやってくるまで』西崎憲（筑摩書房）
『ピエタとトランジ＜完全版＞』,藤野可織,講談社
『彼らは世界にはなればなれに立っている』,太田愛,KADOKAWA
『地べたを旅立つ』そえだ信（早川書房）
『サピエンス前戯』,木下古栗,河出書房新社
『未来からの脱出』,小林泰三,KADOKAWA

SFファン交流会

7月
- 『百年と一日』柴崎友香（筑摩書房）
- 『さよなら、エンペラー』暖あやこ（新潮社）
- 『一人称単数』村上春樹（文藝春秋）
- 『ヴァルキリー』安生正（徳間書店）
- 『四畳半タイムマシンブルース』森見登美彦（KADOKAWA）
- 『臆病な都市』砂川文次（講談社）
- 『断頭台／疫病』山村正夫（竹書房文庫）

8月
- 『歓喜の歌　博物館惑星III』菅浩江（早川書房）
- 『星系出雲の兵站　－遠征－５』林譲治（ハヤカワ文庫JA）
- 『アメリカン・ブッダ』柴田勝家（ハヤカワ文庫JA）
- 『Genesis　されど星は流れる』（東京創元社）
- 『キスギショウジ氏の生活と意見』草上仁（竹書房文庫）
- 『デス・レター』山田正紀（東京創元社）
- 『未来からの脱出』小林泰三（KADOKAWA）
- 『憎悪人間は怒らない』上遠野浩平（ハヤカワ文庫JA）
- 『スキマワラシ』恩田陸（集英社）
- 『中国・SF・革命』（河出書房新社）
- 『ミライヲウム』水沢秋生（小学館）
- 『地霊都市　東京第24特別区』嶺里俊介（KADOKAWA）
- 『サピエンス前戯』木下古栗（河出書房新社）
- 『隣人Ｘ』パリュスあやこ（講談社）
- 『かきがら』小池昌代（幻戯書房）
- 『楽園とは探偵の不在なり』斜線堂有紀（早川書房）
- 『空想クラブ』逸木裕（KADOKAWA）
- 『名探偵のはらわた』白井智之（新潮社）
- 『動機探偵』喜多喜久（双葉文庫）
- 『夢魔の牢獄』西澤保彦（講談社）
- 『念力レストラン』笹公人（春陽堂書店）
- 『赤ずきん、旅の途中で死体と出会う。』青柳碧人（双葉社）
- 『ラストスタンド 感染領域』くろきすがや（宝島社文庫）
- 『アルヒのシンギュラリティ』河邉徹（クラーケンラボ）
- 『キマイラ15 魔宮変』夢枕獏（朝日ノベルズ）

9月
- 『暗闇にレンズ』高山羽根子（東京創元社）
- 『生まれつきの花　警視庁 花人犯罪対策班』似鳥鶏（河出書房新社）
- 『売国のテロル』穂波了（早川書房）
- 『ムシカ 鎮虫譜』井上真偽（実業之日本社）
- 『くらげ色の蜜月』戸川昌子（竹書房文庫）
- 『海神の島』池上永一（中央公論新社）
- 『真夜中のたずねびと』恒川光太郎（新潮社）
- 『数学者の夏』藤本ひとみ（講談社）
- 『ワトソン力』大山誠一郎（光文社）
- 『日没』桐生夏生（岩波書店）
- 『ハッピーライフ』北大路公子（寿郎社）
- 『人鳥クインテット』青本雪平（新潮社）
- 『ＳＦショートストーリー傑作セレクション　宇宙編』『超能力編』『怪獣編』『破滅編』

10月
- 『銀河英雄伝説列伝1　晴れあがる銀河』田中芳樹監修（創元SF文庫）
- 『SIGNAL シグナル』山田宗樹（KADOKAWA）
- 『その果てを知らず』眉村卓（講談社）
- 『滅びの前のシャングリラ』凪良ゆう（中央公論新社）
- 『彼らは世界にはなればなれに立っている』太田愛（KADOKAWA）
- 『八月の銀の雪』伊与原新（新潮社）
- 『この本を盗む者は』深緑野分（KADOKAWA）
- 『記憶翻訳者 いつか光になる』門田充宏（創元SF文庫）
- 『ハリウッド・リメイク桃太郎』藤井青銅（柏書房）
- 『霊能者たち』嶺里俊介（光文社）
- 『デルタの羊』塩田武士（KADOKAWA）
- 『放課後の宇宙ラテ』中西鼎（新潮文庫）
- 『読心刑事・神尾瑠美』藤崎翔（双葉社）
- 『鳩護』河崎秋子（徳間書店）
- 『ボクは再生数、ボクは死』石川博品（KADOKAWA）
- 『エターナル』日野草（実業之日本社）
- 『夢七日 夜を昼の國』いとうせいこう（文藝春秋）
- 『ファーブル君の妖精図鑑』井上雅彦（講談社）
- 『化け者心中』蟬谷めぐみ（KADOKAWA）
- 『僕は令和で棋士になる』新井政彦（マイナビ出版）
- 『天使のアイディア』青柳碧人（祥伝社）
- 『二つと十億のアラベスク』高野史緒（U-NEXT）

11月
- 『万博聖戦』牧野修（ハヤカワ文庫JA）
- 『るん（笑）』酉島伝法（集英社）
- 『人工知能で10億ゲットする完全犯罪マニュアル』竹田人造（ハヤカワ文庫JA）
- 『ヴィンダウス・エンジン』十三不党（ハヤカワ文庫JA）
- 『地べたを旅立つ　掃除機探偵の推理と冒険』そえだ信（早川書房）
- 『それをAIと呼ぶのは無理がある』支倉凍砂（中央公論新社）
- 『ダーク・ロマンス　異形コレクションXLIX』井上雅彦編（光文社文庫）
- 『肉体のジェンダーを笑うな』山崎ナオコーラ（集英社）
- 『ふたりでちょうど200%』町屋良平（河出書房新社）
- 『見た目レンタルショップ 化けの皮』石川宏千花（小学館）
- 『それなら、誰のために人を殺すのか 超能力者には向かない職業3』斉木香津（双葉社文庫）
- 『海獣・呼ぶ植物・夢の死体 初期幻視小説集』笙野頼子（講談社文芸文庫）
- 『2020年のゲーム・キッズ　その先の未来→』渡辺浩弐（星海社FICTIONS）
- 『沙漠と青のアルゴリズム』森晶麿（講談社）
- 『孤島の来訪者』方丈貴恵（東京創元社）
- 『観念結晶大系』高原英理（書肆侃侃房）
- 『頭の中の昏い唄』生島治郎（竹書房文庫）

12月
- 『七十四秒の旋律と孤独』久永実木彦（創元日本SF叢書）
- 『裏世界ピクニック５　八尺様リバイバル』宮澤伊織（ハヤカワ文庫JA）
- 『錬金術師の消失』紺野天龍（ハヤカワ文庫JA）
- 『クラゲ・アイランドの夜明け』渡辺優（中央公論新社）
- 『蠱惑の本　異形コレクションＬ』井上雅彦編（光文社文庫）
- 『件 もの言う牛』田中啓文（講談社文庫）
- 『信長島の惨劇』田中啓文（ハヤカワ時代ミステリ文庫）
- 『岩とからあげをまちがえる』大前粟生（ちいさいミシマ社）
- 『偶然にして最悪の邂逅』西澤保彦（東京創元社）
- 『余命3000文字』村崎羯諦（小学館文庫）
- 『ULTRAMAN SUIT ANOTHER UNIVERSE Episode TIGA』長谷川圭一（ホビージャパン）
- 『星になりたかった君と』遊歩新夢（実業之日本社）
- 『距離の嘘』藤井太洋（U-NEXT）

森下一仁さん 10選　＋α

石川宗生『ホテル・アルカディア』集英社
柞刈湯葉『人間たちの話』ハヤカワ文庫ＪＡ
乾緑郎『機巧のイヴ　帝都浪漫篇』新潮文庫
●小川一水『ツインスター・サイクロン・ランナウェイ』ハヤカワ文庫ＪＡ
小野美由紀『ピュア』早川書房
●北野勇作『１００文字ＳＦ』ハヤカワ文庫ＪＡ
草上仁『７分間ＳＦ』ハヤカワ文庫ＪＡ
柴田勝家『アメリカン・ブッダ』ハヤカワ文庫ＪＡ
十三不塔『ヴィンダウス・エンジン』ハヤカワ文庫ＪＡ
●菅浩江『歓喜の歌　博物館惑星Ⅲ』（早川書房
瀬名秀明『ポロック生命体』新潮社
高山羽根子『首里の馬』新潮社
●　〃　『暗闇にレンズ』東京創元社
竹田人造『人工知能で10億ゲットする完全犯罪マニュアル』ハヤカワ文庫ＪＡ
酉島伝法『オクトローグ』早川書房
●　〃　『るん（笑）』集英社
野崎まど『タイタン』講談社
●林譲治『星系出雲の兵站―遠征―〈１-５〉』ハヤカワ文庫ＪＡ
久永実木彦『七十四秒の旋律と孤独』東京創元社
●藤井太洋『ワン・モア・ヌーク』新潮文庫
福田和代『東京ホロウアウト』東京創元社
牧野修『万博聖戦』ハヤカワ文庫ＪＡ
●眉村卓『その果てを知らず』講談社
●宮西建礼「されど星は流れる」――《ＧＥＮＥＳＩＳ　創元日本ＳＦアンソロジー》３『されど星は流れる』所収
森見登美彦／原案：上田誠『四畳半タイムマシンブルース』ＫＡＤＯＫＡＷＡ
●山田正紀『デス・レター』東京創元社